

赤十字秋田

No.80
2021 冬号



JAPANESE RED CROSS AKITA JOURNAL

青少年赤十字創設100周年記念プレ事業がスタート!



青少年赤十字は令和4年に創設100周年を迎えることから、全国で「つなぐ」・「つづける」・「つくる」をテーマとした記念事業が企画されています。

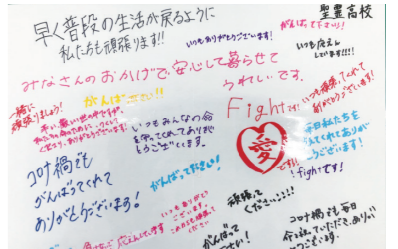
日赤秋田県支部では記念事業のキックオフとして、10月18日(月)、秋田北高青少年赤十字メンバーと秋田市赤十字奉仕団が初めてコラボし、一緒に「ハートラちゃんワッペン」と「アームカバー」の製作を行いました。

当日は、青少年赤十字メンバーの代表がこれからの記念事業への取り組みを宣言した後、ハートラちゃんワッペン製作とアームカバー製作の2グループに分かれ、それぞれ奉仕団員が高校生に対しマンツーマンで丁寧に指導を行いました。

活動の最後に高校生の代表から、「今後、校内で当日参加できなかった青少年赤十字メンバーに製作方法を共有し、入院患者へアームカバーをプレゼントしたり、ハートラちゃんワッペンをつけてボランティア活動をしたい」と感想を述べ、記念の集合写真では、声を合わせて「かわいいね!楽しいね!!」と笑顔での撮影となりました。両団体から、今後も一緒に活動を続けたいとのことで、まさに100周年事業のテーマである、「つなぐ」・「つづける」・「つくる」を体現した活動となりました。



ハートラちゃんワッペン、安全ピンの取り付けについて指導



聖霊高校JRC部から秋田赤十字病院へ寄せ書きのプレゼント!
#コロナ禍でも頑張ってください!

NHK海外たすけあい義援金
ご協力ありがとうございました

「NHK海外たすけあい」は日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンです。皆様からのご寄付は、世界各地で紛争、災害、病気などにより苦しんでいる人びとを支援する活動に役立てられます。

定期的・継続的な活動資金へのご協力方法について

○クレジットカードによるご協力
インターネット上でご登録手続きが可能です。
日本赤十字社のホームページまたはQRコードからアクセスしてください。



QRコードはこちら

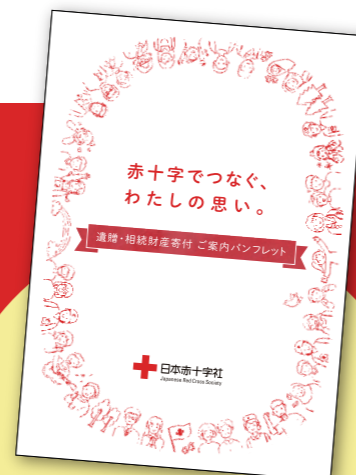
○銀行口座からの引き落としによるご協力
口座振替申込書がございますので当支部までお問い合わせください。



あなたの“思い”を赤十字に

近年、「自分が築いた財産を社会のために役立てたい」「故人の遺産を社会に役立ててほしい」といったお申し出が増えています。このような尊い思いに応えるために遺贈(遺言による寄付)、相続財産寄付を承っております。

遺贈・相続財産寄付のご相談、資料請求は総務課までお問い合わせください。



詳しくはパンフレットで

資料請求していただいた方にお送りしております。

※資金有効活用のため、この払込金受領書をもって日本赤十字社の領収書にかえさせていただきます。
なお、日本赤十字社の免状証明を必要とされる場合は、通信欄の領収書希望欄に☑印をお付けください。

(ご注意)
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を折り、折り曲げたりしないでください。
・この払込書は、ATMでは使用できません。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の海外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこと、おなまえ等は、加入者様に通知されず、払込みの証拠となるものから大切に保管してください。
※資金の有効活用のため、この受領書をもって日本赤十字社の領収書にかえさせていただきます。
なお、日本赤十字社の免状証明を必要とされる場合は、通信欄の領収書希望欄に☑印をお付けください。

〒010-0922 日本赤十字社秋田県支部 総務課
電話 018-864-2731



日赤秋田県支部 ポスターコンクール開催

「やさしさ、思いやり」をテーマとしたポスターを小学生～高校生を対象に募集します！

詳しくは、日赤秋田県支部ホームページをご確認ください！

応募締切:令和4年2月28日(月)

コンクールの
詳細はこちら



青少年赤十字創設100周年記念事業
日赤秋田県支部ポスターコンクール

「やさしさ、思いやり」をテーマとしたポスターを募集します！
詳しくは、日赤秋田県支部ホームページをご確認ください！

作品募集

応募締切:令和4年2月28日(月)

主催 日本赤十字社秋田県支部
共催 秋田県青少年赤十字指導者協議会、秋田県青少年赤十字協議会
協賛 秋田県教育委員会、秋田県市町村教育委員会

赤十字活動は皆様から支えられています

災害救護活動などの赤十字事業は、皆様からお寄せいただく活動資金を財源として実施しております。赤十字事業の安定的な推進には皆様からの継続した活動資金へのご協力が必要です。多くの皆様からご協力いただいている中で、このたび、継続して赤十字活動資金にご協力いただいている企業の取り組みを動画にしました。ぜひ、ご覧いただき様々な企業や団体の皆様の参考になれば幸いです。



継続できる社会貢献活動

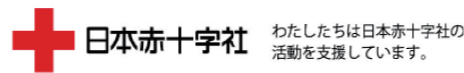
富士フィルムBI秋田株式会社(代表取締役社長 吉田進)は、赤十字活動資金について、20年以上も前からご協力をいただいております。このたび、平成28年度から新たに取り組まれている「赤十字支援マークを活用して売り上げに連動し、赤十字に寄付する」という社会貢献活動を動画にまとめ、吉田社長に赤十字に寄付することになったきっかけや想いをお話いただきました。

YouTubeはこちら



赤十字支援マークとは?

日本赤十字社の理念と活動に賛同し、活動資金や活動に協力していただける企業や団体が使用するものです。



赤十字支援マークの一例

赤十字寄付金付き自動販売機のご紹介

赤十字への支援には、自動販売機による協力方法があることをご存じでしょうか？

飲料の売り上げの一部が赤十字の活動資金になります。

新規設置のご検討や既に設置されている自動販売機からの変更をご希望の場合などはぜひ当支部までお問い合わせください。

TEL018-864-2731



あなたのご寄付でできること

皆さまからのご支援は、赤十字のさまざまな活動や救援物資の購入などに形を変えて、あなたやあなたの大切な人の緊急時に寄り添います。

2,000円
▶毛布
／1枚



3,000円
▶安眠セット
／1人分



5,000円
▶緊急セット
／1セット
4人分



10,000円
▶感染症対策
ガイド
／260冊



25,000円
▶心肺蘇生
訓練用人形
／1体



100,000円
▶訓練用AED
／1台



※ご協力の際には右の払込取扱票をご使用ください。なお、2,000円以上のご協力をいただいた方は会員として登録させていただきます。登録不要の場合は、振込用紙の通信欄にチェックしてください。

銀行専用		払込金受領書	
受取人	日本赤十字社秋田県支部	秋田銀行 本店 普通 516274	北都銀行 本店 普通 305373
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	TEL ()	
手数料	手数料 無料	消費税別	文書枚
収入印紙 200円 [5万円以上]		ご依頼人	

各票の記載事項に間違いのないことをお確かめください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	025101	加入者名	日本赤十字社秋田県支部	金額	千 百 十 万 千 百 十 円	ご依頼人	おなまえ	料金	免	備考	様
記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押しください。											

切り取らないで提出してください。

払込取扱票

99	仙台	千 百 十 万 千 百 十 円	金額	025101	3377	備考	免
加入者名	日本赤十字社秋田県支部		通信欄	<input type="checkbox"/> 領収書希望 <input type="checkbox"/> ここでの子ラシを手にしましたか? <input type="checkbox"/> 市町村報・町内会の回覧 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> 赤十字講習 <input type="checkbox"/> 当支部からの郵送 <input type="checkbox"/> その他()			
ご依頼人	おなまえ		日 附 印	秋田銀行 本店 普通 516274 北都銀行 本店 普通 305373			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行(承認番号:仙第9783号) 振込先には何も記入しないでください。)							

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

コロナ禍でも自分たちにできる活動を！～奉仕団活動のご紹介～

ホームページで
紹介しています！



元気に奉仕団活動ができるよう、
研修会を開催
八峰町峰浜赤十字奉仕団



地域包括支援「いきいきサロン」実施しました！
能代市赤十字奉仕団



地域包括支援「あすなるサロン」
実施しました！
大仙市中仙赤十字奉仕団



今、できることから！
受付ボランティアを実施
仙北市角館町赤十字奉仕団



"もったいない"から、
"ありがとう"へ！
秋田市赤十字奉仕団



職域接種会場での
ボランティア活動を実施
災害救護奉仕団



防災炊き出しイベント開催！
羽後町赤十字奉仕団

令和3年度大規模地震時医療活動訓練に参加しました！

10月30日(土)、東日本大震災と同程度の災害が発生したと想定した医療救護活動訓練が行われ、秋田赤十字病院DMAT隊員6名を陸上自衛隊霞目駐屯地(宮城県仙台市)へ派遣しました。

隊員らは現地へ到着後、仙台市医療圏で受け入れできない患者を秋田空港へ搬送するため、自衛隊機のヘリに搭乗し活動しました。

訓練後の振り返りでは、「機内でできることは限られている。乗車前の短い時間のなかで、いかに患者を観察するかが大事。その情報を見落とすと、機内で患者が急変した場合、処置が困難となる。」と藤田副院長(秋田赤十字病院)。

「誰一人取り残さない救護」を展開するため、いざという時に備え続けます！



現地到着



ヘリでの患者搬送



秋田空港到着



訓練振り返り

教えて!病気や健康のこと!

病気や健康に関することを分かりやすくお伝えするため、「教えて!病気や健康のこと!」と題し、秋田赤十字病院の専門医へインタビュー形式でいろいろと教えていただく企画がスタート!

第1回目は、「冬に多い子どもの感染症」について、田村副院長にご出演いただき、「小児科医が解熱剤を処方するねらい」や「脱水症状の予防」等について、とても参考になるお話を聞くことができました!

収録した動画は、日赤秋田県支部ホームページからご覧いただけます!



田村副院長へのインタビューの様子

「いこう!献血」キャンペーン実施中

ぺこばさん、大政絢さん、鈴木福さん、宮世琉弥さん、小南光司さんをイメージキャラクターとして「いこう!献血」キャンペーンを実施しております。

キャンペーン期間中、献血にご協力いただいた方のうち、10代~30代の「ラブラッド」会員でご希望の方へオリジナルグッズをプレゼント!

ぜひ、この機会に献血へのご協力をお願いいたします!

【期間】令和4年3月31日(木)まで

【プレゼント】「いこう!献血」オリジナルマフラータオルorオリジナル巾着から選択



抗菌コーティングで子どもたちの生活をより安心に!

10月22日(金)、株式会社かんきょう(代表取締役社長 阿部 翔 様)の皆様にご依頼いただき、当院施設内の抗菌コーティングをボランティア活動で実施いただきました。

物を口に入れたり触ったり、マスクをすることが難しい小さい子どもたちから様々な感染症を防ぐことを目的として、人体への影響がなく半永続的に効果が持続する光触媒の抗菌コーティングを子どもたちの部屋や遊具などに施工いただきました。

子どもたちは部屋の扉や自分たちの遊具がコーティングされているのを不思議そうに見守っていました。

子どもたちが過ごす部屋を全面的に施工いただき、より安心して院内で過ごすことができるようになりました。



スプレーを使ってコーティング



初めての光景に興味深々

教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)のご案内

日本赤十字秋田看護大学大学院で「社会人の学び直し」しませんか?



日本赤十字秋田看護大学大学院(修士課程・博士課程)は厚生労働大臣より「教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)」の指定を受けています。この制度は修了後に本人が居住地を管轄するハローワークへ申請することで、雇用保険の被保険者期間(原則3年以上)により、教育訓練経費(入学金と初年度授業料)の20%(上限額10万円)の教育訓練給付金が支給されるものです。申請は修了日の翌日から起算して1ヶ月以内で、科目等履修生や研究生は対象外です。また、修了しない場合には申請できません。教育訓練給付制度について詳しくお知りになりたい方は、お近くのハローワークへお問い合わせください。

一般教育訓練の教育訓練給付金
教育訓練経費の**20%**(上限10万円)

ハローワーク秋田

TEL018-864-4111

お問い合わせ:入試・広報課 TEL018-829-3759